

なぜ、今すぐやめるべき？

PPAPとシャドーITの  
隠れたリスク



# PPAPが抱える3つのセキュリティ欠陥

次のページで詳しく説明します

## PPAPとは？

**P**assword付きZip暗号化ファイルを送信

**P**asswordを送信

**A**ん号化（暗号化）

**P**rotocol（プロトコル）

2000年代以降、日本のビジネスシーンで「セキュリティ対策」として広く定着しました。

### 1. マルウェア感染の温床

パスワード保護されたZIPファイルの中身をスキャンすることが難しく、「Emotet」などのマルウェア感染の温床となっています。

### 2. 誤送信対策にならない

一度メールを送ってしまうと、送り手が後からファイルを「無効化」したり「回収」したりすることができません。

### 3. 利便性が低い

受信者はZIPファイルとパスワードの管理に加え、毎回パスワードの入力が必要です。この手間が、頻繁なやり取りに伴う業務効率の低下を招きます。



# マルウェア感染の巧妙な手口とビジネスへの痛手

01



## 盗み見となりすまし

過去のメールを盗み見し、本物の取引先を装って「例の件です」とパスワード付きZIPを送信。警戒心を解いてクリックを誘います。

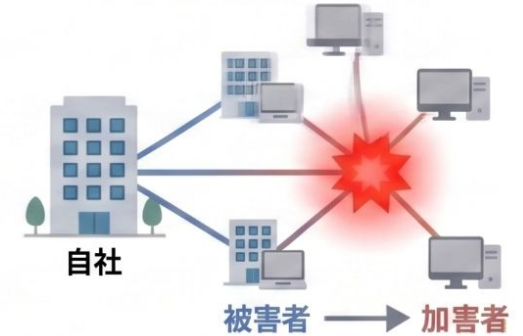
02



## 検知不能・すり抜け

パスワード保護されたZIPファイルの中身をスキャンすることが難しく、企業の入り口にあるゲートウェイ対策を素通りしてしまい、感染につながります。

03



## なりすましの連鎖

感染した自社のメールから取引先へウイルスが拡散され、被害者から「加害者」へと立場が変わってしまうことがあります。情報漏えいにとどまらず、これまで築いてきた信頼を失う問題です。

## 誤送信対策として機能していない

01



### 「あ、間違えた！」の瞬間

メールを送信した直後に誤りに気づいても、PPAPの仕組みでは自動的にパスワードメールが追っかけて送信されてしまいます。

02



### 「回収」も「無効化」も不能

一度相手のサーバーに届いたメールや添付ファイルは、送り手の元から離れているため、後から削除したり無効化したりすることはできません。

03



### 誤送信対策にならない

結局、パスワードを知る手段を止める術がないため、誤送信による情報漏えいを防ぐ手立てにはなり得ないのがPPAPの現実です。

## 送信・受信側ともに利便性が低い

01



### 送信側の非効率な作業

ファイルをZIP化し、パスワードを別メールで送るといった二重の手間が発生。これが「安全」という誤認のもと、習慣化しています。

02



### 受信側の管理負担

受信者はZIPとパスワードの2通を管理し、開く度に手入力が必要。スマホ閲覧も困難で、確認作業に大きな摩擦を生みます。

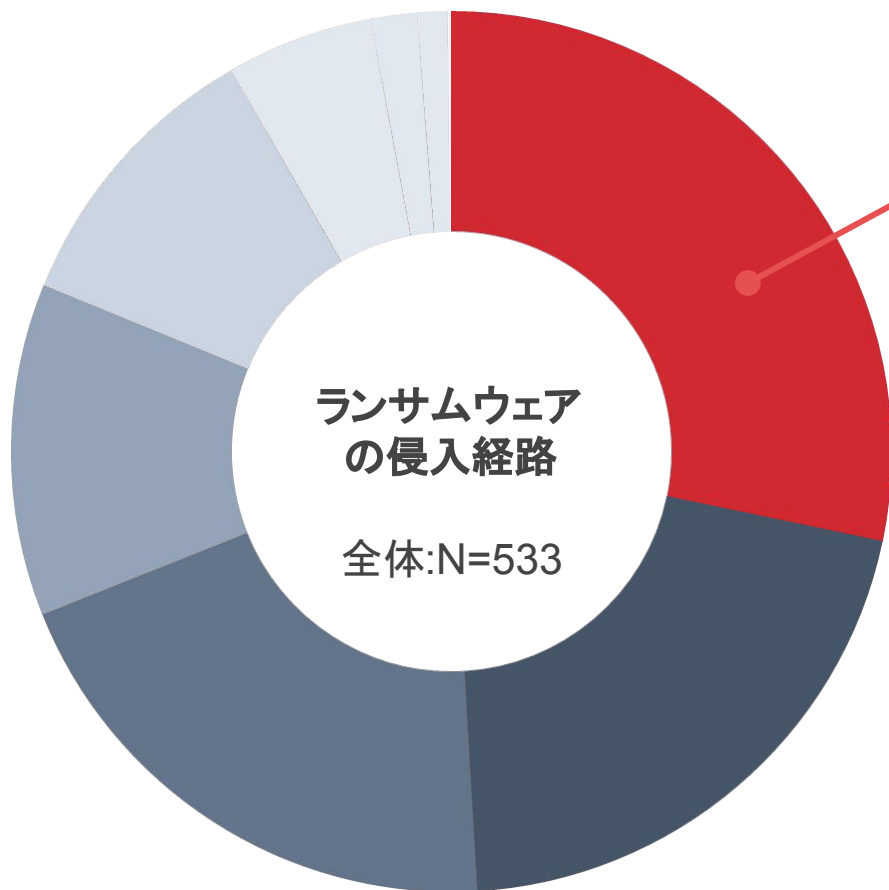
03



### シャドーITの横行

PPAPの不便さから、無料転送サービス（シャドーIT）の使用を招く可能性があります。これらのサービスは監査ログが残らないため、インシデント発生時に追跡ができません。

## ランサムウェアの侵入経路最多は「メール・添付ファイル」



1位

メール・添付ファイルからの侵入

**28.3%**

2位

VPN・ネットワーク機器の脆弱性

**20.8%**

3位

リモートデスクトップ(RDP)悪用

**19.9%**

出典：[JIPDEC/ITR『企業IT利活用動向調査2025』](#)のデータを参照し作成

## 政府・金融機関・企業の PPAP廃止の動き

### 政府・金融機関も推奨

2020年に中央省庁においてPPAPを廃止する方針が打ち出され、2025年には金融庁が金融機関に対し、PPAPの慣行を改めるよう正式に要請しました。

参考：[平井内閣府特命担当大臣記者会見要旨 令和2年11月24日 | 内閣府](#)

### ビジネス機会と信頼の損失

特に、大手企業を中心にサプライチェーン全体で「PPAPを使わないこと」が新たな標準となりつつあり、取引基準の要件となることがあります。

PPAPを続けることは、情報漏えいリスクに加え、取引先のセキュリティ基準を満たせず取引停止となるビジネスリスクにつながります。

PPAP廃止後の新たなリスク

# 未許可のクラウドサービス利用(シャドー IT)



## PPAP廃止後に訪れるカオス「シャドー IT」

PPAP廃止後、利便性を求める従業員による未許可のクラウドサービス利用（シャドーIT）が潜在化し、新たなセキュリティリスクとなることが懸念されています。

### ファイル共有におけるシャドーIT例



**個人用クラウドストレージ**  
(Dropbox、iCloudなど)



**無料のファイル転送サービス**  
(ギガファイル便など)



**個人のSNSやチャットツール**  
(LINE、個人用Slackなど)



# シャドーITによる実際のインシデント事例

## 事例A：個人ストレージによる流出

2023年

派遣社員が個人契約のストレージに顧客情報を転送。発見時には既に**590万件**もの大量データが持ち出されていた。



## 事例B：アカウント乗っ取りの被害

2021年

医師が個人用クラウドに患者データを保存。ID・パスワードが窃取され、機密性の高い医療情報が公開状態となった。



### なぜ従業員はシャドーITに走るのか？

多くの場合、悪意ではなく「業務効率の追求」が理由です。  
しかし、個人サービスは組織水準の防御策を欠くため、攻撃者の容易な標的となります。  
安全なセキュリティ境界内での業務遂行が不可欠です。

# Google Workspace導入企業が「PPAP廃止」で気を付けるべきポイント



## リンクの有効期限

Googleドライブのリンク共有は標準機能で「有効期限」を付けることができますが、権限の落とし忘れなどのヒューマンエラーが起こりやすいので注意が必要です。



## Googleドライブの制約

Googleドライブからの共有を禁止している場合、Googleアカウントを保有していない相手への共有には制限があり、シャドーITの原因となる可能性があります。



## 大容量の送受信

基本はPPAP対策ツールで問題ないが、大容量の動画などのデータ送受信時に無料のファイル転送サービスを利用されるケースがあります。

Google Workspaceとの親和性に特化

その課題、 CMOSY POCKET が解決します





## Cmosy Pocket(クモシーポケット)とは

Googleドライブの共有制限を維持したまま  
ファイル送受信・共有の利便性を向上させる拡張サービスです



Googleドライブの社外共有制限を維持したまま利用可能 ※1

リンクには、パスワード・回数制限・有効期限の強制設定が可能

Chrome拡張機能で、クイックな操作が可能 ※2

※1 共有機能のみ、Cmosy Pocketの設定時に一部共有設定を変更します。

※2 Chrome拡張機能は、送信・受信機能のみでご利用いただけます。



## Cmosy Pocket(クモシーポケット)が解決します



ファイル 送信



ファイルのダウンロード  
リンクを発行  
誤送信時はリンクの無効化が可能



ファイル 受信



ファイルを Googleドライブに直接  
保存可能



ファイル 共有

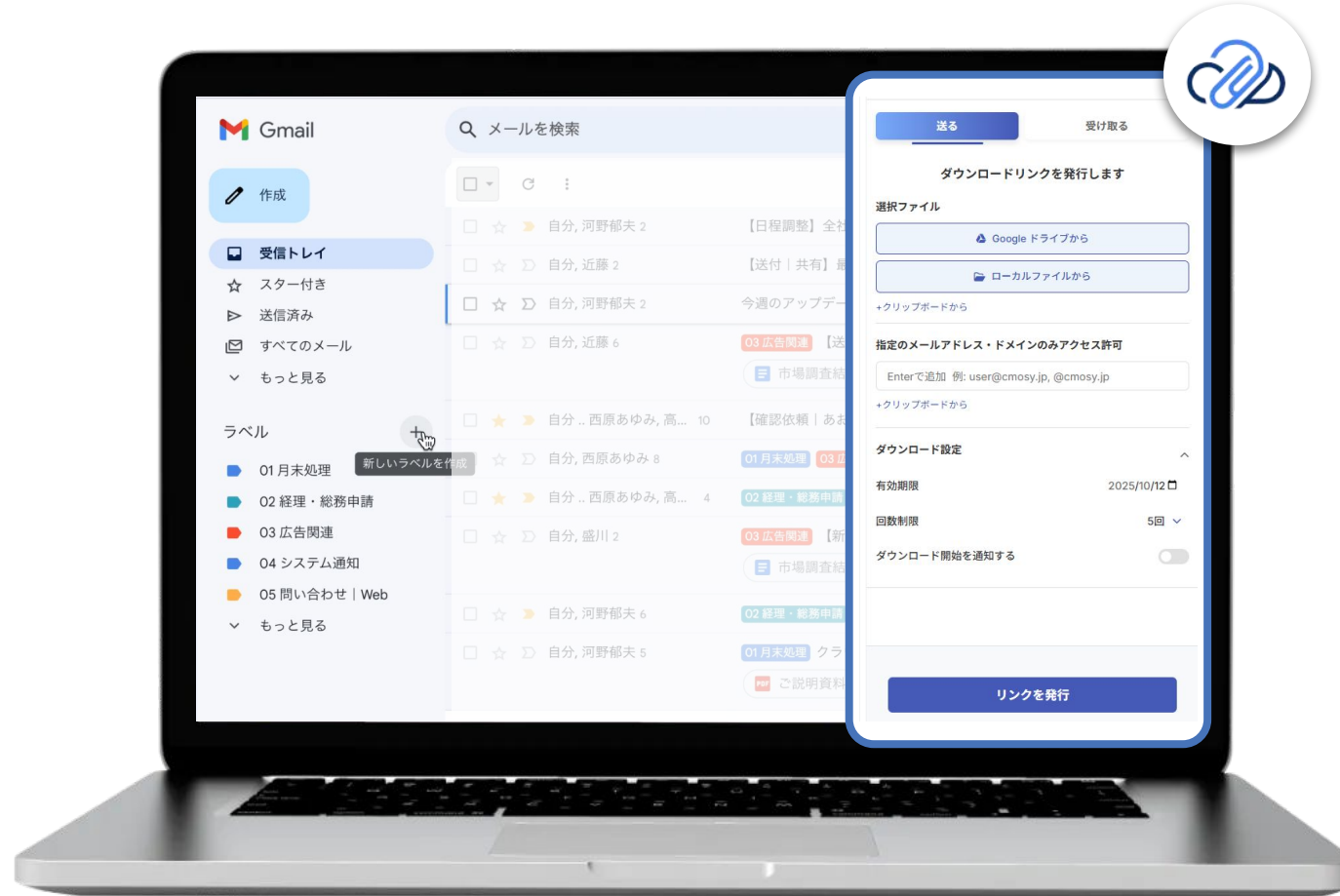


Googleドライブ全体の  
外部共有制限を維持しつつ  
有効期限をつけて共有が可能

Googleアカウントがない相手にもファイル送信・受信・共有が可能です ※1

※1 Googleドライブのビジター共有機能により、共有相手はPINコードでの本人確認のみでアクセス可能です。

# Cmosy PocketのChrome拡張機能なら、あらゆるウェブページで利用可能



※ Chrome拡張機能にはファイル送信・受信機能が搭載されています。共有機能はブラウザのみの対応です。

## さまざまな「利用者向け」機能をご利用いただけます



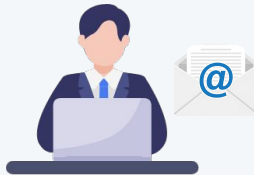
アイテムURLの貼り付けで  
手早くファイル・フォルダを選択



ダウンロード回数※1の設定



誤送信時には  
即時リンク無効化が可能



メールアドレス認証で  
本人確認※3



パスワード設定も可能※2



有効期限の設定で  
権限のつけっぱなしを防止※3

※1 ファイル送信もしくは、ファイル受信機能のみです。共有機能は、ビジター共有の時のみ本人確認が実施されます。

※2 共有機能は、Google 認証、もしくは非 Google アカウント の場合、メール認証が行われるためパスワードを設定しなくても安全です。

※3 ファイル共有機能のみです。付与した権限に有効期限を設定します。

## さまざまな「管理者向け」機能をご利用いただけます



有効期限やパスワードなど  
強制化可能



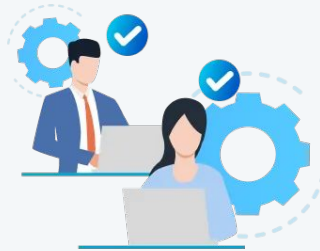
利用履歴が一覧で確認可能



管理者側から  
即時リンク無効化が可能



送信・受信・共有ログが  
永年保管



共有ドライブの作成申請  
機能が利用可能※1



ゲスト共有による  
意図しない権限を監視・削除※1

※1 ファイル共有機能のみです。付与した権限に有効期限を設定します。

## Googleドライブをもっと手軽に安全に

無料トライアル

お問い合わせ

資料ダウンロード



サービスサイトをご覧ください



# YOSHIDUMI

YOSHIDUMI Information, Inc. | My Start for Google Workspace